

史料群番号 56

史料群名	ますたにしんべえ 榑谷新兵衛家文書		旧所蔵者	榑谷新兵衛
探訪時住所	福井県遠敷郡小浜町			
現在の住所	福井県小浜市			
探訪年月	昭和25（1950）年8月			
史料の年代	明治39（1906）年～明治42（1909）年	史料の 総点数	4点	
年代の内訳	近代 4点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	「1952年5月 漁業制度資料目録 第6集 全国篇Ⅳ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」			

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第6集」に掲載されている史料4点の表題、年月日などは、現在中央水産研究所に所蔵されている史料のものと一致する。おそらく、探訪時から今日まで、史料の散逸、移動などは生じていないと思われる。

史料群の概要

「漁業制度資料目録 第6集」に、本史料群について「現在干物問屋、明治頃相当大きく魚肥を
あつかっていた。台帳類は殆ど散失している」と書かれている。

4点はいずれも和綴りの縦帳で、「肥料販売帳」と「肥料譲受簿」の2種類である。探訪段階で
同家にあった帳簿類などは、これがほとんどだったとみられる。肥料は鯀粕で、明治時代にな
ると魚肥のなかでも鯀粕は干鰯の3倍の生産量になったといわれる（「国史大辞典」鯀粕の項）。
大正時代になると鯀の漁獲量は全国的に減少するので、本史料群の時期は鯀粕の最盛期だったと
考えられる。

